

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	オムツ用ゴミ袋支給事業			基本計画	章	健康福祉
事業コード					節	高齢者福祉
課係名	高齢者支援課	内線			項	高齢者福祉の充実
担当者氏名		職名			細項目	在宅福祉の充実

事業概要	家族介護用品支給事業(オムツの支給)を利用している方に対し、オムツ用ゴミ袋(家庭ごみ袋)を支給する。					
現在の課題や市民要望など	課題:オムツ・尿とりパットの利用枚数は、世帯ごとに異なるため、支給するゴミ袋の数の算定が困難である。 要望:なし					

事業目的	① 要介護者を現に介護する家族に対し、経済的負担の軽減を図る。 ② ③ ④					
	個別取組	① ゴミ袋(40L)の支給 ③			② ④	

事業による改善・変更点	①			②		
	③			④		

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ()					
内容	① 家族介護用品支給事業利用者 ③			② ④		

業務形態	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
内容	① ゴミ袋(40L)の支給 ③			② オムツの支給時に配布 ④		

支出根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令要綱等名称 <input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④
------	--	---

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:無期			後年度負担	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	<input type="checkbox"/> 複数年度:有期[始期 ~ 終期]			内容		

事業費の積算	28年度	75,000円(オムツ支給限度額)÷3,726円(オムツ1袋・尿とり1袋)=20セット [ゴミ袋 2枚(オムツ 1袋)×20セット=40枚 [ゴミ袋 2枚(尿とり1袋)×20セット=40枚 65円(40L)×80枚×29人=150,800円	事業費	151	事務スケジュール	年月	内容
			国 県			27.11	予算要求
	市 債		28.3	要綱制定(改正)			
	その他						
	一般財源	151	※	28年4月以降 随時支給			
	事業費	162					
	国 県						
	市 債						
	その他						
	一般財源	162					
	事業費	172					
	国 県						
市 債							
その他							
一般財源	172						

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値			
	名称			28年度	29年度	30年度	
	■ 活動指標	①	配布数	世帯	29	31	33
		②					
	■ 成果指標	①	指定ごみ袋受領者	世帯	29	31	33
②							

事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。 ・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	在宅で重度の要介護者を介護している低所得世帯の家族を対象に、経済的負担の軽減を図るためのものであり、高齢者の在宅生活継続のために有効である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> ・意図した成果は確実に得られるか。 ・類似の目的を持つ事業はないか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	家族介護用品支給事業を利用している方(低所得世帯の家族)を対象とした事業であり、一定の成果は得られるものと考ええる。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> ・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。 ・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	B	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	配布方法や枚数を検討することは可能だが、高齢化の進展に伴い、利用者の増加が見込まれる。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> ・今実施しなければならない理由。 ・実施しない場合の問題点。
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	国が「施設から在宅へ」の方針転換を進める中で、施設に入所ができない低所得世帯への支援が必要である。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> ・どういう市民要望があるのか。 ・受益者負担は適正か。 ・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。 	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	ごみ袋の値下げについては、従前から要望がある。ごみ処理経費の受益者負担は公平にすべきと考えるが、自助努力が困難な高齢者等に対する社会的配慮は必要である。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述 	
千葉市、君津市、野田市で実施している。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性		
	評価		◎評価理由：基本計画における高齢者福祉の充実に位置付けられることから実施は妥当である。ただし、財源について、各所管による既存事業費の削減額や、他の新規事業との優先順位を勘案する必要があるが、現在のところ充当一般財源が見込めず、実現性は低い。
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
	■政策調整会議による評価		
	評価		◎評価理由：福祉を充実させる事業であるが、対象者は既におむつの支給を受けており、一定の経済的負担の軽減が図られていることから、ゴミ袋の無償配布についての実施は見送るものとする。
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	
	■庁議による方針		
	評価		具体的な方向性 ごみ処理経費の受益者負担のあり方が各市町村で異なっていることから、現時点での実施は見送り、状況を注視することとする。
	C	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない	